



平成28年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月4日

上場取引所 東

上場会社名 ライオン株式会社
 コード番号 4912 URL <http://www.lion.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月11日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 濱 逸夫
 (氏名) 鎌尾 義明

TEL 03-3621-6211

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年12月期第3四半期の連結業績(平成28年1月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年12月期第3四半期	290,134	5.9	19,064	72.2	20,237	65.0	13,043	75.9
27年12月期第3四半期	274,027	3.3	11,070	50.8	12,265	49.5	7,413	51.4

(注)包括利益 28年12月期第3四半期 9,740百万円 (32.2%) 27年12月期第3四半期 7,366百万円 (22.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年12月期第3四半期	45.15	45.09
27年12月期第3四半期	27.57	25.67

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年12月期第3四半期	271,940	151,472	52.9
27年12月期	282,434	142,730	47.6

(参考)自己資本 28年12月期第3四半期 143,827百万円 27年12月期 134,453百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年12月期	—	5.00	—	5.00	10.00
28年12月期	—	5.00	—	—	—
28年12月期(予想)	—	—	—	8.00	13.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正については、本日(平成28年11月4日)公表の「業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」を参照してください。

3. 平成28年12月期の連結業績予想(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	390,000	3.0	23,500	43.5	25,000	38.1	15,000	40.4
							円 銭	
							51.61	

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(平成28年11月4日)公表の「業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」も併せて参照してください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 有

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年12月期3Q	299,115,346 株	27年12月期	299,115,346 株
-----------	---------------	---------	---------------

② 期末自己株式数

28年12月期3Q	8,507,853 株	27年12月期	12,469,748 株
-----------	-------------	---------	--------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年12月期3Q	288,893,269 株	27年12月期3Q	268,822,112 株
-----------	---------------	-----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続を実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料で記述している業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、経済情勢、競合状況、為替の変動等にかかわるリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により実際の業績は、上記予想数値とは大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料P. 6「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○ 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	6
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	6
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	7
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	7
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	7
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	7
3. 四半期連結財務諸表	8
(1) 四半期連結貸借対照表	8
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	10
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(セグメント情報等)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期の連結業績は、売上高2,901億3千4百万円（前年同期比5.9%増、為替変動の影響を除いた実質前年同期比9.4%増）、営業利益190億6千4百万円（前年同期比72.2%増）、経常利益202億3千7百万円（同65.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益130億4千3百万円（同75.9%増）となりました。

当社グループは、中期経営計画「V-2計画（V i s i o n 2 0 2 0 P a r t - 2）」における4つの戦略テーマ「国内事業の質的成長」、「海外事業の量的成長」、「新しいビジネス価値の開発」、「組織学習能力の向上」にもとづく施策を推進しています。

国内事業では、歯磨、ボディソープ、洗濯用洗剤、柔軟剤等において新製品を導入するとともに、高付加価値品を中心に積極的なマーケティング施策により育成を図りました。

海外事業では、オーラルケア、ビューティケア等のパーソナルケア分野を中心に、重点ブランドの育成を行い、事業規模の拡大を図りました。

【連結業績の概況】

(単位：百万円)

	当第3四半期	売上比	前第3四半期	売上比	増減額	増減率
売上高	290,134		274,027		16,106	5.9%
営業利益	19,064	6.6%	11,070	4.0%	7,994	72.2%
経常利益	20,237	7.0%	12,265	4.5%	7,972	65.0%
親会社株主に帰属する四半期純利益	13,043	4.5%	7,413	2.7%	5,630	75.9%

【セグメント別の業績】

(単位：百万円)

	売上高				セグメント利益（営業利益）			
	当第3四半期	前第3四半期	増減額	増減率	当第3四半期	前第3四半期	増減額	増減率
一般用消費財事業	209,652	197,243	12,409	6.3%	12,620	6,596	6,024	91.3%
産業用品事業	39,892	42,253	△2,361	△5.6%	1,838	942	895	95.0%
海外事業	83,354	73,423	9,931	13.5%	3,601	2,497	1,103	44.2%
その他	18,916	21,581	△2,664	△12.3%	523	717	△193	△27.0%
小計	351,816	334,501	17,315	5.2%	18,584	10,754	7,830	72.8%
調整額	△61,682	△60,473	△1,208	—	480	315	164	52.1%
合計	290,134	274,027	16,106	5.9%	19,064	11,070	7,994	72.2%

セグメント別の概況は、以下のとおりです。

<一般用消費財事業>

当事業は、「オーラルケア分野」、「ビューティケア分野」、「ファブリックケア分野」、「リビングケア分野」、「薬品分野」、「その他の分野」に分かれており、全体の売上高は、前年同期比6.3%の増加となりました。セグメント利益は、増収に加え、原価率の低減などにより前年同期比91.3%の増加となりました。

(単位：百万円)

	当第3四半期	売上比	前第3四半期	売上比	増減額	増減率
売上高	209,652		197,243		12,409	6.3%
セグメント利益	12,620	6.0%	6,596	3.3%	6,024	91.3%

(注)売上高には、セグメント内およびセグメント間の内部売上高を含んでおり、その金額は当第3四半期では19,357百万円、前第3四半期では19,004百万円となっております。

[売上高の分野別状況]

(単位：百万円)

	当第3四半期	前第3四半期	増減額	増減率
オーラルケア分野	44,794	41,726	3,067	7.4%
ビューティケア分野	17,502	15,477	2,024	13.1%
ファブリックケア分野	58,997	55,985	3,012	5.4%
リビングケア分野	15,153	15,103	49	0.3%
薬品分野	30,001	28,210	1,790	6.3%
その他の分野	43,203	40,739	2,464	6.0%

(オーラルケア分野)

歯磨は、“歯垢を落とす、フッ素を残す、菌を増やさない”という予防歯科の3つのポイントを実現できる「クリニカアドバンテージ ハミガキ」を改良発売するとともに、就寝中に歯ぐきの抵抗力を高めて歯周病を防ぐ新製品「システムハグキプラス ナイトケアジェル」など「システムハグキプラス」シリーズが好調に推移し、全体の売上は前年同期を上回りました。

歯刷牙は、「クリニカアドバンテージ ハブラシ」や「システムハグキプラス ハブラシ」が好調に推移し、全体の売上は前年同期を上回りました。

口中剤は、新機能の“抗菌コート”で菌をよせつけず、原因菌の増殖を抑え、ムシ歯、歯肉炎、口臭を防ぐ「クリニカアドバンテージ デンタルリンス」を改良発売し、全体の売上は前年同期を大幅に上回りました。

また、「クリニカアドバンテージ デンタルフロス Y字タイプ」などのデンタル用品の売上が前年同期を大幅に上回りました。

(ビューティケア分野)

ハンドソープは、抗菌ポンプヘッドを新たに採用した「キレイキレイ薬用泡ハンドソープ」が好調に推移し、全体の売上は前年同期を大幅に上回りました。

制汗剤は、新製品「^{バン}B a n 汗ブロックロールオン プレミアムラベル」がお客様のご好評をいただきましたが、「^{バン}B a n デオドラントパウダースプレー」が伸びなやみ、全体の売上は前年同期を下回りました。

た。

また、保湿成分が肌にしっかり吸着して高い保湿効果を発揮する新製品「^{ハダカカラ}h a d a k a r a ボディソープ」がお客様のご好評をいただきました。

(ファブリックケア分野)

洗濯用洗剤は、センイ1本1本から汚れを徹底的に落とす“スーパーナノ洗浄”で優れた洗浄力を実現した超コンパクト液体洗剤の新製品「トップ スーパー^{ナノックス}N A N O X」がお客様のご好評をいただくとともに、微香タイプを追加したおしゃれ着用洗剤「アクロン」が順調に推移し、全体の売上は前年同期を上回りました。

柔軟剤は、衣類をしっとりとしたなめらかな肌触りに仕上げる新製品「^{ソフラン クイーンズシルク}Soflan Queen's Silk」がお客様のご好評をいただくとともに、新しい2つの香りを追加した「ソフラン アロマリッチ」が好調に推移し、全体の売上は前年同期を大幅に上回りました。

(リビングケア分野)

台所用洗剤は、前期に発売してお客様のご好評をいただいた「^{チャーミー}CHARMY ^{マジカ}M a g i c a」に除菌と無香性の2つのタイプを追加発売し、全体の売上は前年同期を上回りました。

住居用洗剤は、浴室用カビ防止剤「ルック おふろの防カビくん煙剤」が好調に推移するとともに、トイレ用洗剤「ルックまめピカ トイレのふき取りクリーナー」が順調に推移しましたが、浴室用洗剤等が伸びなやみ、全体の売上は前年同期比横ばいとなりました。

(薬品分野)

解熱鎮痛薬は、「バファリンA」に加え、「バファリン プレミアム」が好調に推移し、全体の売上は前年同期を大幅に上回りました。

点眼剤は、充血をとり、健康的で澄んだ白目にする新製品「スマイルホワイティエ」がお客様のご好評をいただくとともに、「スマイル40 プレミアム」が好調に推移し、全体の売上は前年同期を上回りました。

(その他の分野)

通信販売商品は、「ナイスリムエッセンス ラクトフェリン」や「グッスミン 酵母のちから」が好調に推移し、全体の売上は前年同期を大幅に上回りました。

ペット用品は、猫用トイレの砂「ニオイをとる砂」が順調に推移し、全体の売上は前年同期を上回りました。

＜産業用品事業＞

当事業は、導電性カーボン等を取り扱う「電気・電子分野」、界面活性剤等の「生活産業分野」、施設・厨房向け洗浄剤等の「業務用洗浄剤分野」等で構成されており、全体の売上高は、前年同期比5.6%の減少となりました。セグメント利益は、売上構成の変化などにより前年同期比95.0%の増加となりました。

(単位：百万円)

	当第3四半期	売上比	前第3四半期	売上比	増減額	増減率
売上高	39,892		42,253		△2,361	△5.6%
セグメント利益	1,838	4.6%	942	2.2%	895	95.0%

(注)売上高には、セグメント内およびセグメント間の内部売上高を含んでおり、その金額は当第3四半期では16,958百万円、前第3四半期では19,624百万円となっております。

電気・電子分野では、スマートフォン等の液晶フィルム用粘着剤が伸びなやみ、全体の売上は前年同期を下回りました。

生活産業分野では、衣料用柔軟剤向けの原料が順調に推移しましたが、洗濯用洗剤向け原料が伸びなやみ、全体の売上は前年同期比横ばいとなりました。

業務用洗浄剤分野では、厨房向け消毒用アルコールが好調に推移するとともに、ハンドソープが堅調に推移し、全体の売上は前年同期を上回りました。

＜海外事業＞

海外は、タイ、マレーシア等の東南アジア、韓国、中国等の北東アジアにおいて主に消費財事業を展開しております。全体の売上高は、タイなどの主要国が順調に推移したことに加え、前第3四半期末にマレーシアのサザンライオン有限公司を連結子会社としたことにより、前年同期比13.5%の増加(為替変動の影響を除いた実質前年同期比28.4%の増加)となりました。セグメント利益は、前年同期比44.2%の増加となりました。

(単位：百万円)

	当第3四半期	売上比	前第3四半期	売上比	増減額	増減率
売上高	83,354		73,423		9,931	13.5%
セグメント利益	3,601	4.3%	2,497	3.4%	1,103	44.2%

(注)売上高には、セグメント内およびセグメント間の内部売上高を含んでおり、その金額は当第3四半期では8,730百万円、前第3四半期では4,911百万円となっております。

[地域別売上状況]

(単位：百万円)

	当第3四半期	前第3四半期	増減額	増減率
東南アジア	56,940	48,060	8,880	18.5%
北東アジア	26,414	25,363	1,051	4.1%

(地域別の状況)

東南アジア全体の売上高は、前年同期比18.5%の増加となりました。

タイでは、「システム」歯刷牙が順調に推移するとともに、「植物物語」ボディソープが好調に推移しましたが、為替変動の影響を受け円貨換算後の全体の売上は前年同期を下回りました。

北東アジア全体の売上高は、前年同期比4.1%の増加となりました。

韓国では、「キレイキレイ」ハンドソープや洗濯用洗剤の液体「ビート」が好調に推移しましたが、為替変動の影響を受け円貨換算後の全体の売上は前年同期を下回りました。

また、中国では、「システム」歯磨が好調に推移するとともに、日本からの輸入販売が増加し、円貨換算後の全体の売上は前年同期を上回りました。

<その他> (建設請負事業等)

(単位：百万円)

	当第3四半期	売上比	前第3四半期	売上比	増減額	増減率
売上高	18,916		21,581		△2,664	△12.3%
セグメント利益	523	2.8%	717	3.3%	△193	△27.0%

(注)売上高には、セグメント内およびセグメント間の内部売上高を含んでおり、その金額は当第3四半期では16,636百万円、前第3四半期では16,933百万円となっております。

(2) 財政状態に関する説明

当四半期における資産、負債および純資産の状況

(連結財政状態)

	当第3四半期 連結会計期間末	前連結会計年度末	増減
総資産(百万円)	271,940	282,434	△10,493
純資産(百万円)	151,472	142,730	8,741
自己資本比率※1(%)	52.9	47.6	5.3

※1：自己資本比率は、(純資産－新株予約権－非支配株主持分)／総資産で計算しています。

総資産は、受取手形及び売掛金の減少等により、前連結会計年度末と比較して104億9千3百万円減少し、2,719億4千万円となりました。純資産は、87億4千1百万円増加し、1,514億7千2百万円となり、自己資本比率は52.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想は、平成28年11月4日発表のとおり、前回予想(平成28年7月29日発表)を修正しております。また、配当予想の修正も行っております。

詳細につきましては、発表資料「業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

(当期業績予想値算出の前提条件)

第3四半期以降における主要な為替レートは、105円/米ドル、3円/パーツとしています。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しておりませんが、平成28年7月14日付で、当社の連結子会社であるピアレスライオン株式会社の当社保有株式全てを、合弁相手先であるピアレス・プロダクツ・マニュファクチャリング・コーポレーションに譲渡し、合弁契約を解消したことに伴い、ピアレスライオン株式会社を連結の範囲から除外しております。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項（4）、連結会計基準第44-5項（4）及び事業分離等会計基準第57-4項（4）に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額はありません。

（たな卸資産の評価方法の変更）

当社グループの商品・製品のたな卸資産の評価方法については、従来、主として先入先出法による原価法を採用しておりましたが、Vision2020の実現に向け推進している「海外事業の量的成長」に基づき、2015年9月にサザンライオン有限公司を連結子会社化するなどにより連結財務諸表に占める海外子会社の構成比が増加していることを契機として、当社グループのたな卸資産の評価方法を検討した結果、連結グループとしての会計方針を海外子会社の採用している会計方針に統一することがより適切であると判断し、第1四半期連結会計期間より親会社及び一部国内連結子会社において、移動平均法による原価法に変更しております。

なお、この変更による影響は軽微であり、遡及適用は行っておりません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,584	16,904
受取手形及び売掛金	58,655	53,819
有価証券	45,919	44,628
商品及び製品	24,233	26,841
仕掛品	3,169	3,191
原材料及び貯蔵品	10,151	10,212
その他	6,214	6,389
貸倒引当金	△98	△89
流動資産合計	166,830	161,897
固定資産		
有形固定資産	75,060	72,474
無形固定資産		
商標権	4,428	2,350
その他	1,492	1,149
無形固定資産合計	5,921	3,500
投資その他の資産		
投資有価証券	21,116	20,608
その他	13,721	13,666
貸倒引当金	△215	△207
投資その他の資産合計	34,622	34,068
固定資産合計	115,603	110,043
資産合計	282,434	271,940
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	49,620	43,411
短期借入金	9,772	4,269
1年内返済予定の長期借入金	226	246
未払金及び未払費用	47,521	41,856
未払法人税等	4,614	3,247
賞与引当金	2,992	4,336
返品調整引当金	447	422
販売促進引当金	2,491	2,614
役員賞与引当金	336	289
その他	3,224	3,686
流動負債合計	121,247	104,381
固定負債		
新株予約権付社債	2,426	-
長期借入金	2,082	1,725
役員退職慰労引当金	414	305
退職給付に係る負債	8,751	9,303
資産除去債務	346	348
その他	4,434	4,403
固定負債合計	18,455	16,086
負債合計	139,703	120,467

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	34,433	34,433
資本剰余金	34,029	34,507
利益剰余金	69,414	79,571
自己株式	△6,800	△4,701
株主資本合計	131,077	143,811
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,983	5,606
繰延ヘッジ損益	△0	△22
為替換算調整勘定	1,748	△1,815
退職給付に係る調整累計額	△4,356	△3,752
その他の包括利益累計額合計	3,375	15
新株予約権	403	202
非支配株主持分	7,873	7,443
純資産合計	142,730	151,472
負債純資産合計	282,434	271,940

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)
売上高	274,027	290,134
売上原価	118,844	119,179
売上総利益	155,182	170,954
販売費及び一般管理費	144,112	151,889
営業利益	11,070	19,064
営業外収益		
受取利息	94	109
受取配当金	449	311
持分法による投資利益	542	528
受取ロイヤリティー	222	166
為替差益	85	70
その他	366	377
営業外収益合計	1,761	1,563
営業外費用		
支払利息	328	231
社債利息	95	9
その他	143	150
営業外費用合計	566	390
経常利益	12,265	20,237
特別利益		
投資有価証券売却益	141	31
固定資産処分益	625	-
特別利益合計	766	31
特別損失		
固定資産処分損	824	488
減損損失	196	71
段階取得に係る差損	178	-
関係会社整理損	-	303
特別損失合計	1,199	863
税金等調整前四半期純利益	11,832	19,405
法人税、住民税及び事業税	3,947	5,738
法人税等調整額	△482	△418
法人税等合計	3,465	5,320
四半期純利益	8,366	14,084
非支配株主に帰属する四半期純利益	953	1,041
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,413	13,043

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	8,366	14,084
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,472	△385
繰延ヘッジ損益	△11	△22
為替換算調整勘定	△2,634	△4,332
退職給付に係る調整額	434	603
持分法適用会社に対する持分相当額	△261	△207
その他の包括利益合計	△1,000	△4,344
四半期包括利益	7,366	9,740
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,976	9,683
非支配株主に係る四半期包括利益	389	56

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年1月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	一般消費財 事業	産業用品事業	海外事業				
売上高							
(1)外部顧客への売上高	178,239	22,628	68,511	4,647	274,027	—	274,027
(2)セグメント間の 内部売上高又は 振替高(注)1	19,004	19,624	4,911	16,933	60,473	△60,473	—
計	197,243	42,253	73,423	21,581	334,501	△60,473	274,027
セグメント利益	6,596	942	2,497	717	10,754	315	11,070

(注) 1 報告セグメント内の内部取引を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額315百万円は、内部取引消去額等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年1月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	一般消費財 事業	産業用品事業	海外事業				
売上高							
(1)外部顧客への売上高	190,295	22,933	74,624	2,280	290,134	—	290,134
(2)セグメント間の 内部売上高又は 振替高(注)1	19,357	16,958	8,730	16,636	61,682	△61,682	—
計	209,652	39,892	83,354	18,916	351,816	△61,682	290,134
セグメント利益	12,620	1,838	3,601	523	18,584	480	19,064

(注) 1 報告セグメント内の内部取引を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額480百万円は、内部取引消去額等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。